



# おさかな瓦版

No. 71  
2016.5

シリーズ：貝 第3回

## アサリ



ふーちゃんのトピックス

ちとせ もり じょうほうかん  
千歳さけますの森さけます情報館で  
みてさわって学ぼう

## アサリ

～日本から世界に渡った貝～

アサリは日本人にとってみそ汁の貝などでおなじみの貝です。日本のアサリは、北海道から九州までの広いはんにいでとられています。スーパーや魚屋で売られているものは普通3センチくらいですが、北海道では4センチ以上になります。貝がらのもようはさまざま、色もひとつひとつ違います(📷1)。



📷1 もようも色もさまざまなアサリ

東アジア原産ですが、今では世界中で漁業や養殖が行われています。明治30年代に宮城県から輸出された養殖用のマガキに混ざってアメリカのワシントン州に渡り、アメリカとカナダの西海岸で生息するようになりしました。昭和40年代には、ヨーロッパアサリが減ってしまった代わりに、アメリカからヨーロッパに輸出されました。育ちがよくおいしいので、現在でもイタリアやフランスなどで漁業や養殖が行われています。

アサリは、干潟の砂に潜って生活しています。アサリがいるところには、「アサリの目」(📷2)とよばれる穴が二つ見えることがあります。これは目ではなくて、2本ある水管です。片方の水管から水と一緒にエサの粒を吸い込んで、エラでこしとって食べます。そ



あんじいの  
ワンポイント  
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

## おいしいイタリア料理に日本生まれのアサリあり!?

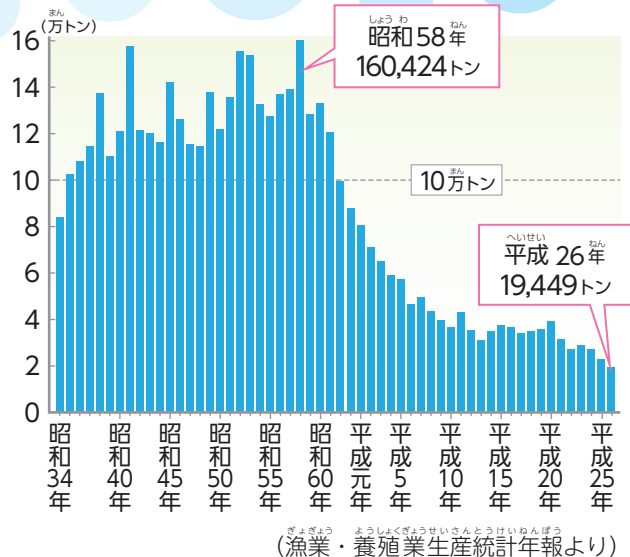
イタリアのアドリア海の北部では日本から渡ったアサリが養殖されているんじゃ。イタリアで食べられているアサリの多くは日本のアサリが祖先だそうじゃ。イタリアはもちろん日本でも人気のスパゲッティ・ボンゴレじゃが、イタリア人が好んで食べるパスタに日本原産のアサリが使われているとは、不思議な感じがするのお。



イタリア人のアサリ研究者ステファニアさんが作ったスパゲッティ・ボンゴレ



📷 2 アサリの目



📊 アサリの漁獲量

してもう片方の水管から水とフンをはき出します (🔍 チェック)。

日本のアサリ漁獲量は、昭和61年までは10万トン以上ありましたが、平成26年には2万トン以下になってしまいました (📉)。

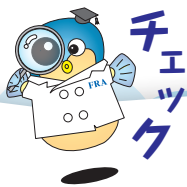
減ってしまった原因は、海の環境の変化など簡単に修復できないものが多く、アサリを増やすのは難しいことです。かつては日本から世界に広がったアサリですが、今では外国か

ら輸入しているのは、とても残念なことです。

水産研究・教育機構では、「天然のアサリを増やす」と、「養殖で育てる」ために必要な技術の開発をはじめ、いろいろな研究に取り組んでいます。



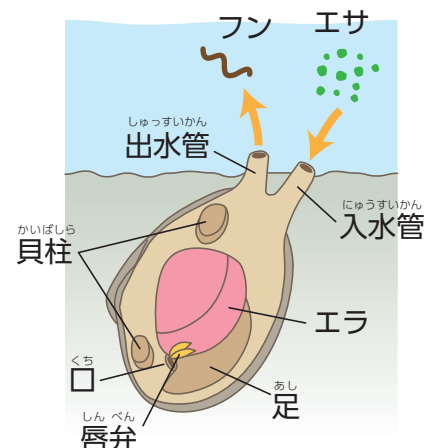
わたなべ さとし (渡部 諭史)



## アサリは食事をして海をきれいに！

アサリのエサはプランクトンなどです。アサリは、エサを水と一緒に入水管から取り込み、エラでこして集め、唇弁でエサだけをよりわけて食べます。エサ以外のものやエサが多すぎるときは、粘液でかためて吐き出します。

このように、アサリは海水中のプランクトンや濁りなどをこして、水をきれいに浄化(ろ過)しているのです。1個のアサリが1時間でろ過できる海水は1リットルともいわれています。





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

さけの里ふれあい広場が  
リニューアルしました!

みて まな 学ぼう

さわって

# 千歳さけますの森 さけます情報館で

北海道にある『さけの里ふれあい広場』が『千歳さけますの森さけます情報館』として新しく生まれ変わったの。ぜひ遊びに来てね。入場無料よ!



大型水槽

ベニザケやサクラマスが見られるのよ。



サケの実物大模型

実際の大きさや重さを体験できるわよ!



人の動きで  
魚の映像が  
変化するの。

いろいろ  
動いてみてね!



大画面映像システム

サケのふ化や川をさかのぼる様子を水中に  
いるかのように見ることができるのよ。



歴史コーナー

北海道のさけますのふ化放流の歴史が  
学べるわ。

## 千歳さけますの森 さけます情報館

〒066-0068 北海道千歳市蘭越9番  
北海道区水産研究所 千歳さけます事業所内  
☎ 0123-23-2804

- 開館時間 10:00 ~ 16:00
- 入館料 無料
- 休館日 月曜日・年末年始(12月27日~1月5日)



<http://hnf.fra.affrc.go.jp/sakemori/>



★ JR 千歳駅より車で15分  
道央自動車道 千歳 IC より車で15分  
(国道36号、道道支笏湖公園線経由)



ふーちゃん と



ふっくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

## おさかな瓦版 No.71 (2016年5月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3  
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702  
ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のこ  
とでわからないことがあったら、広報課までハガ  
キを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、  
<住所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふっくん  
が「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



アサリ



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

リサイクル適性  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。